

滝山城に行こう

令和3年12月16日(木)生徒8名と石川先生、松野先生が滝山城に向かいました。

どんな攻め方をするのかと生徒に尋ねると、「奇襲だ」とか「力攻めだ」とか威勢のいい返事が返ってきました。

日差しが強く、厚着では汗をかくくらいでした。

まず、竹林の中に入って行かねばなりません。うっそうと茂った竹藪のトンネルの中に敵がいて、今にも矢が飛んできそうでした。

ARアプリポイント

勇気を出して突き進むと、早速、ARアプリポイントがありました。



この鳥瞰図につきましては、中田正光様、滝山城跡群・自然と歴史を守る会様、都立小宮公園サービスセンター様にご協力をいただきました。

大手口から、三の丸、千畳敷、二の丸、中の丸、そして、本丸を目指します。

堀や櫓、虎口、馬出の様子が手に取るようにわかります。そして、城を攻める足軽たちがやりをもって突進しているではありません



八王子市観光課提供ARアプリ画像を楽しむ

ませんか。すでに、地面に横たわっている者も見えます。生徒は画面を見ながら「すごい！」「すごい！」を連呼していました。まるで私達が武田軍の一員になったかのような思いになりました。



被害を被りやすい格子形通路

防御の要は「二の丸」

*滝山城が築かれた加住丘陵は東西に長く、北は多摩川に侵食された急峻な断崖、南は谷戸が入り組んだ複雑な地形になっています。こうした地形を利用し

た滝山城の特徴は、「二の丸の集中防御」です。「二の丸」は3つの尾根が集中していて、各々に「馬出」を設け、「二の丸には敵を絶対入れさせない」という堅固な構えになっています。*（「滝山城攻めマップ」からの引用）

いよいよ本丸に

この「二の丸」を突破し、「中の丸」、「本丸」にたどり着きました。そこからは多摩川が一望できます。滝ヶ原運動場、テニスコートなど明るくて平和な景色が広がっています。

城攻めをしてきたつもりの緊張感があっという間に溶けました。そして、平和な現代に生きていることの有り難さを改めて感じました。



記念写真を撮り、入城した道とは違うルートで下山しました。



最後に

屋敷跡や行き止まりの曲輪（敵をふくろのねずみにする遺構です。攻め手には行き止まりに見えるが、守り手には馬出となる）など、学術的に貴重な城郭遺構にも遭遇できました。

500年も経っているのに、よくこれだけの遺構を残せたものだと感心しながら、滝山城を後にしました。

生徒の感想

- 事前学習で、見たいと思った堀と馬出は思ったより大きかったです。堀は絶対登れないなと思いました。ARで昔の滝山城が復元されてわかりやすかったです。山登りみたいでとても疲れしました。
- 歩き疲れましたが、とても楽しかったです。堀から出るとき滑りそうになって怖かったけど、1年生に助けてもらったので助かりました。